

第 143 回東葛しぜん観察会

ワラで楽しく作るお正月飾り

三角紀久子（流山市）

日時：2017 年 12 月 10 日（日）10～12 時 30 分 天気：晴れ

場所：21 世紀の森と広場 パークセンター 2F 会議室（松戸市）

参加者：31 名（内 子ども 1 名）、指導員 10 名

講師：日野原、担当指導員：三嶋・草野・三角

年末恒例となってきたお飾り作り：「ワラで楽しく作るお正月飾り」のイベントを快晴の 21 世紀の森と広場 パークセンターの会議室を借りて開催いたしました。

11 月 15 日の申込み開始と同時に定員満杯となり、今年も多くのキャンセル待ちが発生しました。

先ず、お正月飾りに使われる植物のいわれとお正月ゆかりの植物について講師の日野原さんからお話を来て、門松・しめ縄・鏡餅のお飾りの話に續いて、松・竹・梅やウラジロ・ユズリハ・稻、赤い実をつけた万両・千両・百両・十両の実物を観てもらい、金運に恵まれることで縁起ものとして飾られると云う紹介をしました。藁の説明の時に、ワラ＝稻を干したものである事を初耳の参加者がおられました。今回使用する藁は天皇陛下がお田植えをする同じ品種の「マンゲツモチ」で、松戸の田んぼで田植えをして育てたもので、稻刈りをした後にハザ掛けをして、天日干しをしたものであり、今年は特に 10 月に雨降りが多く、脱穀が延び延びになって藁の状態が乾燥不十分であったため、ワラの整備に気を使ったお話も…。

いよいよ作業開始です！ 人数が多いため、はじめに①縄縫い班と②お飾り作り班に分かれて、50 分で交代しました。今年は参加者にしめ縄経験者がいてコツを伝授して戴いたり、指導員の皆さんアシストが十分できたので、皆さん「難しい！」と言いながらも縄目が綺麗に出てスムーズに出来上りました。お飾りは自然観察会らしく松ぼっくり・ヒマラヤスギのシーダローズ・フウのタネなどを緑色の松の葉に束ねたものを作り、赤色の水引や金色の針金に加えて、扇と羽根のお正月ピックの 2 本を輪にしたしめ縄に思い思いにアレンジしました。個性あふれるお正月飾りを満足げに見る参加者の皆さんの感謝の一言と、時間内に無事終了でき、ホッとしました。準備の時からお世話を戴いたパークセンターの担当者とお手伝いいただいた指導員の皆様に心より感謝いたします。

